

2014年10月1日

報道関係者各位

ポラスグループ 12年連続グッドデザイン賞受賞

薄 型 採 光 耐 力 壁

戸 建 賃 貸 住 宅

若手大工職人育成の訓練機関

スマート・ブレース

fulfeel (フルフィール)

ポラス建築技術訓練校

ポラスグループ

株式会社ポラス暮らし科学研究所

ポラテック株式会社

職業訓練法人ポラス建築技術振興会

ポラスハウジング協同組合

ポラスグループ(本社:埼玉県越谷市 代表:中内晃次郎)の(株)ポラス暮らし科学研究所が開発した、薄型採光耐力壁『スマート・ブレース』、ポラテック(株)が開発した、戸建賃貸住宅『fulfeel(フルフィール)』、職業訓練法人ポラス建築技術振興会・ポラスハウジング協同組合が運営している、『ポラス建築技術訓練校』の計3点が2014年度グッドデザイン賞を受賞いたしました。

ポラスグループとしては12年連続受賞となり、通算受賞点数は24点となりました。

また、今回初めて、商品だけではなく、“若手大工職人の育成”という取り組みが評価され、『ポラス建築技術訓練校』が受賞いたしました。

◀ ポラスグループ グッドデザイン賞 詳細ホームページ <http://www.polus.co.jp/gooddesign/> ▶



(株)ポラス暮らし科学研究所

薄型採光耐力壁

『スマート・ブレース』



ポラテック(株)

戸建賃貸住宅

『fulfeel (フルフィール)』



職業訓練法人ポラス建築技術振興会
ポラスハウジング(協)

若手大工職人育成の訓練機関

『ポラス建築技術訓練校』

本件に関するお問い合わせ先

ポラスグループ ポラス(株) 経営企画部 広報チーム 丸岡・青柳

TEL:048-989-9151 FAX:048-987-9271

スマート・ブレース

耐震×採光×視線遮蔽×施工×意匠
5つの性能を複合させ開口設計の自由度をアップ

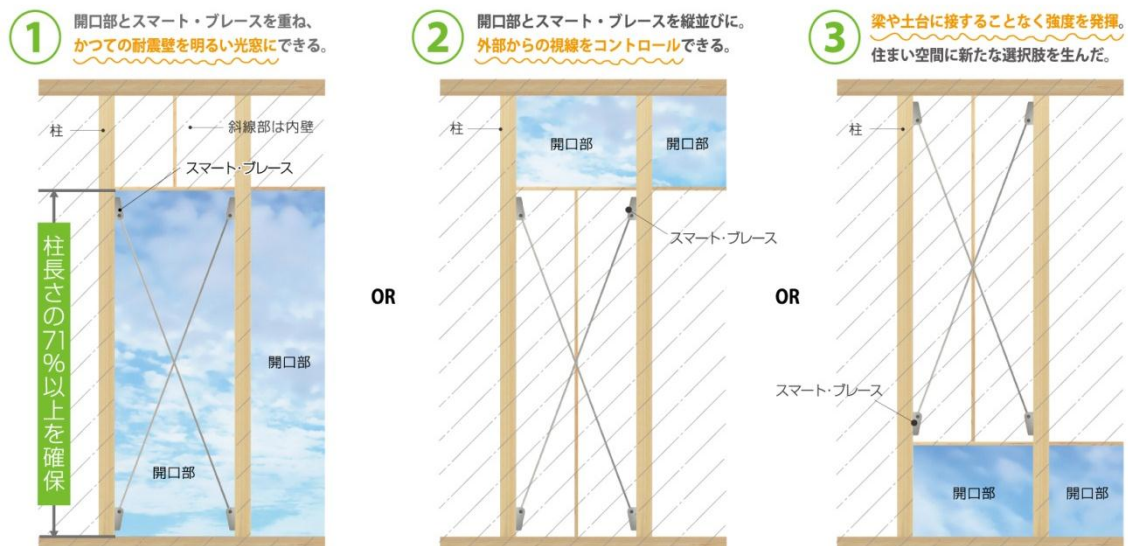
【概要】

近年、都市部の密集住宅地では、耐震性向上を目的とした耐力壁設置や、隣家とのプライバシー確保のために、必然的に窓の設置数が減り、宅地面積自体に加え、窓のサイズや数も縮小傾向にあります。結果として、薄暗い間取りになりやすく、住まい手の思う自由な空間構成が十分に図られてきたとは言い切れません。そこで、都市型狭小敷地でも、従来通りの耐震性を確保しつつ、明るく開放的な住空間を提供したいとの考えから、多様な住空間デザインを叶える耐力壁『スマート・ブレース』を開発いたしました。

【特徴】

下記の特徴により、設計の自由度を高め、光空間の創出を実現

1. 耐震性・採光性・視線遮蔽性・施工性・意匠性の相互補完
2. 耐力壁とした部分の上下双方への窓設置が可能な構造
3. 耐力壁とした部分の背面全面を採光面とできる構造
4. 内装仕上げ材の上から設置可能な施工方法
5. インテリア性の高いシンプルな独自のブレース機構



審査員の評価

在来木造における筋違は、大きく開口部の在り方を制約してきた。もちろん、そこを耐力壁として開口部をつけなければよいのだが、都市部の狭小な敷地ではそのことがプランの自由度を制限する。開口部と鉄筋の筋違を組み合わせる手法は以前からあるが、柱に対する筋違の位置の自由度をあげるこのスマート・ブレースがすっきりとしたインテリアに与える効果は想像以上に大きいだろう。この点は大いに評価に値する。

fulfeel（フルフィール）

利益は大事。でも、遊び心はもっと大事。

【概要】

心のゆとりや安らぎは、日々の暮らしの楽しさ、遊び心から生まれてきます。他の画一的な家とは明らかに違うと見る人に思わせる外観・機能性・建築プランは、地域にも借り手にも潤いを与えます。個性的な住宅が増え、リノベーションやシェアハウスなどといった言葉もよく聞くようになりましたが、土地活用については、従来通りの画一的な提案しかなされていませんでした。空いた敷地に建てるものが、ランドスケープから考えた街づくり、地域の活性化や住まう家族を楽しい気持ちにさせる個性豊かな住まいだったらとの考えから、他と差別化した一戸建て賃貸住宅を企画・開発いたしました。

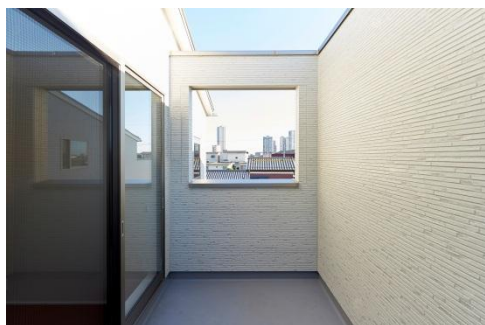
【特徴】

一戸建て賃貸希望者が住宅を探す、都心から30キロ圏内（通勤時間30分）のエリアを選び、自分の好きなものにこだわりを持ち、自分らしさを大切にする30～40代の世代をターゲットとしました。

街づくりから企画し、住まう家族が繋がる、そして1つの街としての価値を生み出すコモンスペースを設けています。建物も機能性だけでなく、例えばテーブルセットを置いてお茶を飲める屋上バルコニー、夏の強烈な日差しをカットするグリーンウォールやカースペース緑化、電気自動車が止められる配線等、付加価値として認められるよう配慮しました。



外 観



屋上バルコニー



グリーンウォール

審査員の評価

コンパクトな4戸の住宅を、中庭を囲むように配置させ、あたかも一戸の住宅のようにデザインした戸建賃貸住戸である。単体では貧弱に見えてしまうのを避け、さまざまな仕掛けを組み込み創意工夫されている点が微笑ましく、好感が持てる。

ポラス建築技術訓練校

「学働遊合」を実現し、若手大工職人を育成する取り組み

【概要】

ポラス建築技術訓練校は、21世紀の建築業を担う確かな知識と高い技能を持つ若手大工職人をグループ企業内で独自且つ継続的に育成することを目的とし、1987年に開設された職人育成訓練校です。

近年、更に深刻化する“大工職人不足の問題”に対し、木造建築技術の教育と現場における勤労とを融合させた、「学働遊合」の道を設立。「盗んで覚える」が当たり前であった大工技術を、「系統だった教育により習得・実践する」に変化させました。組織的、且つ継続的な職人の育成・支援に努めることで、現代の若手大工の夢の実現・建築業の未来に貢献していきます。

【特徴】

若手大工職人を社員雇用し、技術教育と労働の場を兼ね備えて自社内育成しています。木材プレカットの進歩や工期短縮のため、手加工の技術向上の場が減少する中、サシガネ・ノミ・カンナ・ノコギリといった大工技能継承機会の創出や技能士資格の取得などを推進しています。

また、卒業生に対しても、国内や世界で大工技術を競う技能五輪全国大会・技能グランプリなどへの出場支援を積極的に行い、より一層の技能向上を促す風土を構築しています。

【主な実績】

◆2014年3月時点で641名の修了生を輩出し、現在は28期生。

修了生のうち150名は同グループ内の社員大工として、その他に150名が同グループ他部門の経営幹部や施工技術者等として第一線で活躍。

◆2013年 第51回技能五輪全国大会にて、出場者全員が入賞（金賞1名・銀賞2名・銅賞1名）。他多数



訓練風景 1



訓練風景 2

審査員の評価

深刻な職人不足に悩む大工業界の問題を解決しようとする取り組み。いままで親方のやり方を見聞きして覚えてきた大工仕事を、「現場で働きながら学ぶ」の考えのもと、系統だった教育プログラムにまとめなおし、習得・実践がしやすい仕組みをつかった。また1社だけでなく、グループ企業全体でこの問題に対して取り組んでいる点も評価された。